

事業評価書

補助事業名	防災に関する事業:はしご付消防自動車維持(基金)								
補助事業者名	木更津市長								
実施場所	木更津市内								
補助事業の成果の目標	現在、木更津市における高層建物の災害時において、市民を救助し安全を確保するには、はしご付消防自動車は欠かせないものとなっている。 当市のはしご付消防自動車は購入後、既に20年以上経過していることから、車体、エンジンに著しい性能低下や劣化により、修理や部品交換も年々多くなっており、現有車両をそのまま配備し続ければ、即座に万全な対応ができない状況になる恐れがある。 そこで、当市で保有するはしご付消防自動車について、修理、点検、更新を基金化することにより、常に万全な状態で災害に対応できる消防体制とし、市民が安心して暮らせる環境の確保を図る。 【参考指標】 災害時にはしご付消防自動車が必要な高層建物数：164棟（H26. 4. 1現在） 災害時にはしご付消防自動車が必要な高層建物数：166棟（H27. 4. 1現在）								
補助事業の内容	はしご付消防自動車の修理、点検、更新								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成26年度から平成30年度 基金の処分:平成27年度から平成35年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	26	50,742,000				50,742,000	0	50,742,000	0
	27	63,393,000				63,393,000	299,160	113,835,840	299,160
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 例年通りの保守点検を実施することができた。その後、消防隊員からの活動報告書と日々の整備日誌により、「安心して日々の活動ができる」「動作がスムーズになった」等が多数見受けられた。このことから、常に万全な状態で災害に対応できる消防体制で、市民が安心して暮らせる環境が確保されていると考える。 〔地域住民への周知の実施状況〕 当市ホームページ上で今年度実施した事業の概要や事業に要した額等を記載した。								
事業の改善措置及び今後の対応	平成27年度の保守点検で交換の必要があると指摘された部分に関しては、平成28年度に対応した。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	—								